

新潟支援報告書

所属名	企画調整局マルチメディア推進課	報告者	赤松 庸光（49歳）
派遣期間	平成 16 年 11 月 1 日（月）～ 平成 16 年 11 月 7 日（日）		
派遣先	市町名	小千谷市	
	場所・部署等	災害対策本部・仮設住宅	
支援活動 （箇条書き）	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟県・被災市町村との連絡・調整体制の整備 ・仮設住宅管理、生活再建支援、災害援護資金、弔慰金等に係る事務処理及び新潟県との調整 ・災害対策関連事業と経常事務との処理体制 ・災害関連相談窓口の整備（仮設住宅、災害給付関連） ・仮設住宅入居者の選考 ・仮設住宅管理経費の確保（仮設住宅の環境改善、集会所機能確保等） ・避難所長期化への対応と物資等の配給計画、民間活用 ・雪対策（仮設住宅、道路融雪） 		
課題を含めた感想等	<ul style="list-style-type: none"> ・震災から間もないこともあり、県と被災市町村間の連絡体制の整備が十分でなく、今後の体制づくりが必要と感じた。（中核となる長岡市に県の本部的機能を設置等）。 ・その後、新潟県との窓口体制が整備され、災害関連での県との関係や事務処理全般について説明し、認識をもってもらうことができたと思う。 ・り災証明の書式、生活再建支援法と新潟県独自の上乗せなど阪神・淡路大震災当時と内容が変わっており、支援する側の勉強の必要性を感じた。 ・仮設住宅の入居選考について、地域コミュニティを活かした入居となったことは、阪神・淡路の経験が活かされたと思うが、新潟県中越地震の災害規模、住民感覚から可能であったと思われる。 ・派遣期間が1週間（実質5日間）であったが、馴れたところに現地を引き上げることになるので、10日間から2週間くらいの期間がいいのでは。 		